

県下の地価公示の特徴

1 全 体

- (1) 継続調査地点 347 地点について、上昇地点は、昨年は長野市の商業地 1 地点と軽井沢町の住宅地及び商業地の各 1 地点の 3 地点でしたが、今年は、軽井沢町の住宅地 2 地点及び商業地 1 地点の 3 地点のみとなり、他の市町村にはありませんでした。
また、横ばい地点は、昨年の 5 地点（商業地）から 9 地点（住宅地 2 地点、商業地 6 地点、準工業地 1 地点）に増加しました。それ以外の地点は下落しました。
- (2) 平均変動率は、全ての用途で、下落幅が縮小しました。

2 住宅地

- (1) 継続調査地点 221 地点のうち、軽井沢町 2 地点で上昇、松本市及び飯田市の各 1 地点で横ばいとなりましたが、それ以外の地点で下落しました。下落幅は、拡大の 2 地点（長野市 1 地点、飯山市 1 地点）を除き、横ばい又は縮小しました。
- (2) 平均変動率は、-2.6%と平成 10 年以降 11 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年（-4.0%）より縮小しました。
- (3) 市町村別では、別荘地を中心に首都圏からの需要が高い軽井沢町は全ての地点で上昇し、平均変動率が昨年の 3.6%から 4.6%となりましたが、それ以外の市町村は下落しました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小（H19 -3.2%→H20 -2.0%）しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小（H19 -4.0%→H20 -1.9%）しました。
- (6) 最高価格地点は、長野ー13（妻科神社南）で 100,000 円/㎡（-1.0%）でした。
これは、平成 12 年に標準地に設定して以来 9 年連続です。

3 商業地

- (1) 継続調査地点 92 地点のうち、軽井沢町の 1 地点で上昇、長野市の 6 地点で横ばいとなりましたが、それ以外の地点は下落となりました。下落幅は長野市の 1 地点（横ばいから下落 0.0%→-0.5%）を除き縮小しました。
- (2) 平均変動率は、-3.3%と平成 5 年以降 16 年連続の下落となりましたが、下落幅は昨年（-4.5%）より縮小しました。
- (3) 市町村別では、軽井沢町で平均変動率が昨年の 11.8%から 13.4%となり、平成 18 年以降 3 年連続で上昇しましたが、それ以外の市町村は下落しました。中心商業地の沈滞や観光・リゾート業の不振等により、小諸市（H19 選定替→H20 -7.5%）、東御市（H19 -8.6%→H20 -6.9%）、白馬村（H19 -10.2%→H20 -5.9%）で高い下落率となりましたが、下落率が 2 けたの市町村はなくなりました。
- (4) 長野市では、下落幅が縮小（H19 -1.6%→H20 -1.0%）しました。
- (5) 松本市では、下落幅が縮小（H19 -4.6%→H20 -3.1%）しました。
- (6) 最高価格地点は、長野 5ー2（長野駅前）で 515,000 円/㎡（-0.2%）でした。
これは、平成元年に標準地に設定して以来 20 年連続です。